

# みんなで考え、つくる。 あたらしいまち。



みんなで集える  
自由な居場所  
の巻  
2021.12発行

西成区社会福祉協議会 —— 生活支援体制整備事業

平成30年9月から平成31年3月まで期間限定で「認知症にやさしい鶴7商店会」という取組みが鶴見橋商店街7番街でありました。

その中で「居場所」として平日は毎日立ち寄ることができる「よろずパーク」という場所が開設されました。

大勢の方が立ち寄る居場所として定着しつつありましたが、期間満了により閉めることに…

**そこで!**  
ネットワーク委員会や北西部地域包括、梅南・橘ランチ、区社協の各担当が集まり、地域で集える場所の大切さを話し合いました。



**その結果**

令和元年5月より、フリールーム(自由な居場所)がはじまり、8月からは

**「スマイル」**の愛称で毎週水曜日に開催することに!

**参加されている方々からは…**



この場に集うことが、お互いの見守りにつながったり、各々ができることをすることで自然と役割が生まれ、とってもいい効果をもたらしてくれているようです。

何より皆さんが、いきいきと過ごせる居場所となっています。  
**ぜひ一度 来てみませんか?**  
コロナ禍でも感染予防を図りながら開催を続けています!



# 理想の居場所がここにある！ 自由な中に笑顔・気遣いが自然に生まれています！

## 地域の思い

『スマイル』は毎週水曜日(祝日も休みなし)午後1時30分から開催し、お茶をしながら話しもはずみ、ビンゴゲーム、トランプ、風船ゲームで楽しみ、脳トレにもなっています。

ヤクルト健康教室、腹話術とマジック、西成消防署による予防救急とAED操作、西成警察署による防犯かるた、西成区老人福祉センターのゲーム等啓発や健康、運動の出前講座も実施しています。

コロナ禍ではありましたが、感染予防には注意しながら皆さんが集まり、笑顔で楽しんでいるのを見ると、開催してよかったと実感しています。

『スマイル』では、困りごと、気になる方、介護のこと等の相談窓口として、北西部地域包括支援センター、梅南・橘ランチ、西成区社会福祉協議会、オレンジチームの参加をいただき、「気配りさんサミット」も定期的に開催しています。

一人ひとりの笑顔が皆を勇気づけ、スタッフも元気をもらい、次へとつながる力になっています。

一日のライフプランとして、いきいき暮らし、気持ちのいい居場所として続けられたらと願っております。

松之宮地区ネットワーク委員会

委員長  
森本 吉一さん



副委員長  
山上 和子さん



## ランチ・包括の思い

みんなが自由に集える場所『スマイル』。

ゆっくりと過ごせる時間があったり、色々な取組みがあったりと、本当に自由で笑顔“スマイル”で過ごせる場所です。

また参加者自身が声をかけあったり、会場づくりのため、テーブルやいすの出入れで力を合わせたり。自分達でこの場所を育てていっている様にも思えます。

私も『スマイル』に参加する事で元気をもらい、笑顔“スマイル”で日々過ごせています。

梅南・橘ランチ  
戸島 健二さん



『よろずパーク』の取組みから一緒に参加させていただき今に至りますが、一貫して感じることは「パワフル！ ジョイフル！ ワンダフル！」です。

ある時は、コロナ禍での開催継続に関し賛否両論ある中、「何かあったとき、誰が責任をとるのか」の発想を、「個々の自己責任」に転換し、こんな時期だからこそ居場所は大切である、と感染対策を万全に取り、『スマイル』を継続開催した地域の方々の力強さを感じました。

また、とりあえず笑いの絶えない楽しい場です。企画運営を先導してくださる方、準備片づけを支えてくださる方、参加して元気をもらって帰る方、協力機関、みんなが役割を感じお互いを気遣える素晴らしい場です。今後もますますパワーアップが予想されワクワクしています！

北西部地域包括支援センター  
松隈 愉香さん



生活支援コーディネーターは地域の思いの“つなぎ役”

今まであった居場所を新しい場所につなぐ

コロナ禍でも活動を続けているという情報をつなぐ

いつも明るい笑顔あふれる『スマイル』。「あの人もまだ来てないな〜」と心配して迎えに行ったり、あったかい言葉をかけあうなど、ホットなときを過ごせる『スマイル』に、ぜひぜひ一度覗きにきてくださいね！



第2層生活支援コーディネーター  
伏多 聖美

